

令和元年度みやぎ心のケアフォーラム

岩沼圏域における 節酒支援の取組

塩釜保健所岩沼支所
地域保健班 阿部真夏美



塩釜保健所岩沼支所の概要

名称：仙台保健福祉事務所（塩釜保健所）岩沼支所

○H9年4月組織改編で支所となる

○2市2町管轄（名取市・岩沼市・亶理町・山元町）

○仙台市・福島県（相馬）の通勤圏

○人口 約16万8千人（平成30年10月時点）



アルコール関連問題の顕在化

- ・塩釜圏域におけるアルコール相談件数は

震災前後で約 6 倍増加※1

- ・ 50-60代の男性の約 2 割が多量飲酒※2

(週 4 日以上 1 日 3 合以上, 6 ドリンク以上) に該当

日本酒 (15%)	ウイスキー(40%)	ビール (5%)	缶チューハイ(7%)	焼酎泡盛 (25%)	ワイン (12%)
1 合	ダブル1杯	中瓶1本 (500ml)	1缶 (350ml)	1合	グラス1杯
					
2ドリンク	2ドリンク	2ドリンク	2ドリンク	3.5ドリンク	1ドリンク

※ 1 「地域保健・健康増進事業報告」よりH21年とH27年の比較

※ 2 宮城県「平成26年度応急仮設住宅(プレハブ仮設)等入居者健康調査」,
宮城県「平成26年度民間賃貸借り上げ住宅入居者健康調査」より

岩沼支所のアルコール対策の経過

年度	専門相談	家族支援	研修会等
～ H 2 6	本所活用	個別支援	
H 2 7	4 回	個別支援	「アルコール問題を持つ人をどう支えるか」 「早期介入による節酒支援のメリット」
H 2 8	6 回	家族教室 6 回	「アルコールに悩む家族への支援－クラフトを使った支援」 「早期介入による節酒支援によるメリット」 「節酒を目指した介入～節酒の目標を決めよう～」 市町支援 「健康サロンでのH A P P Yプログラム」
H 2 9	1 0 回	家族教室 1 0 回	「節酒指導力向上セミナー基礎編」 市町支援「健康サロンでのH A P P Yプログラム」
H 3 0	1 0 回	家族教室 1 0 回	「節酒支援フォローアップ講座」 市町支援「健康サロンでのH A P P Yプログラム」
R 1	1 0 回	家族教室 1 0 回	市町支援 「役場職員を対象としたHAPPYプログラム」

節酒指導力向上セミナー基礎編 (H29.12.1)

- みやぎ心のケアセンターとの共催で開催。
- 障害福祉担当部門だけではなく、**健康増進部門**にも周知。



平成29年度 節酒指導力向上セミナー

10分で出来る！節酒支援

講師 福田 貴博 先生

地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館



日時

平成29年12月1日（金）
13：00～17：00

実践的なプログラムを含みます

場所

岩沼市総合福祉センターiあいプラザ

〒989-2427 宮城県岩沼市里の杜3丁目4-15

対象

医療・保健・福祉従事者
被災者支援に携わる支援者

参加費 無料

申込締切日 平成29年11月24日（金）

※裏面の参加申込書をご記入の上、FAXまたは電話にてお申し込みください。

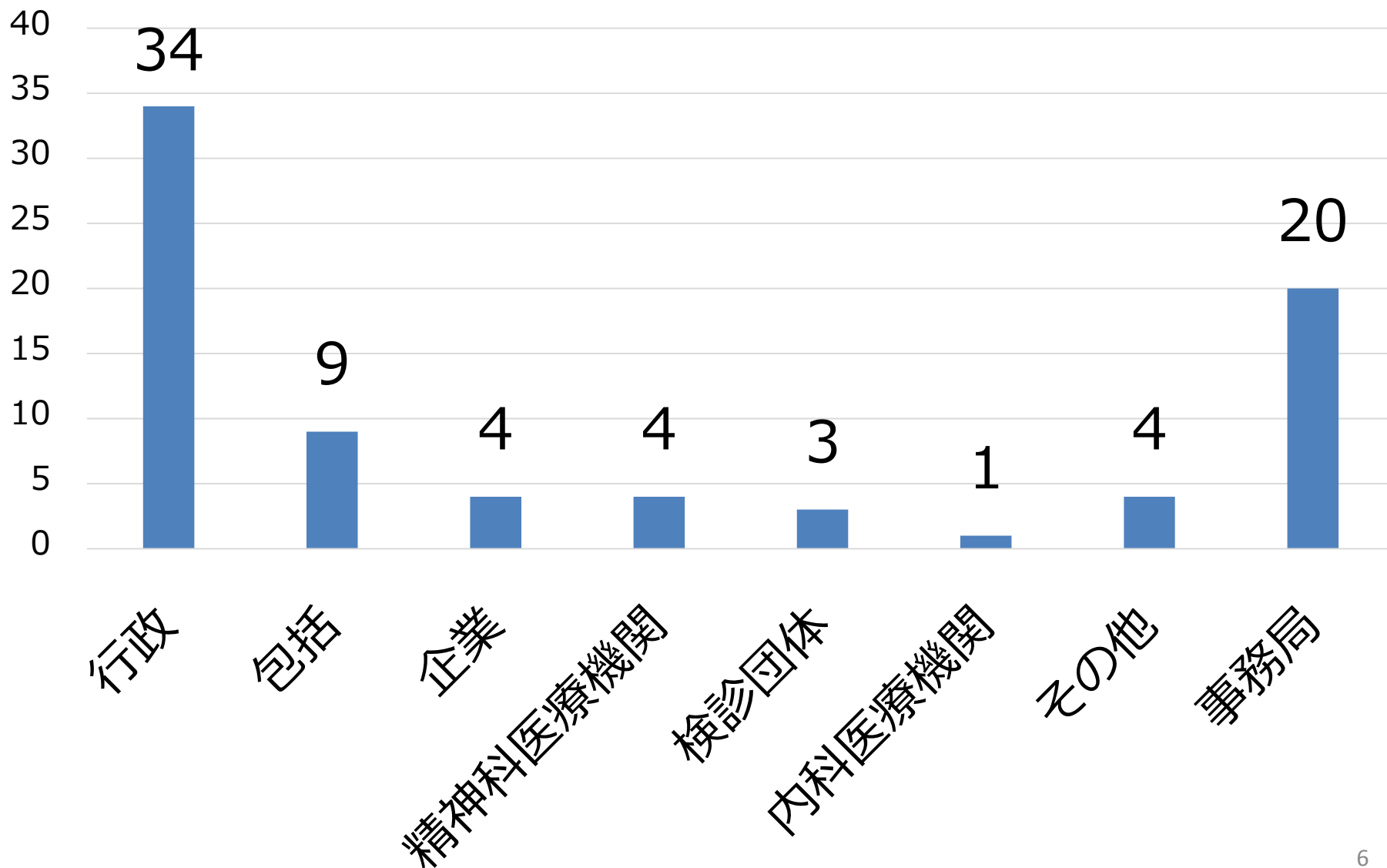
※お問い合わせ先

みやぎ心のケアセンター 地域支援課 大場・甘糟（あまかす）

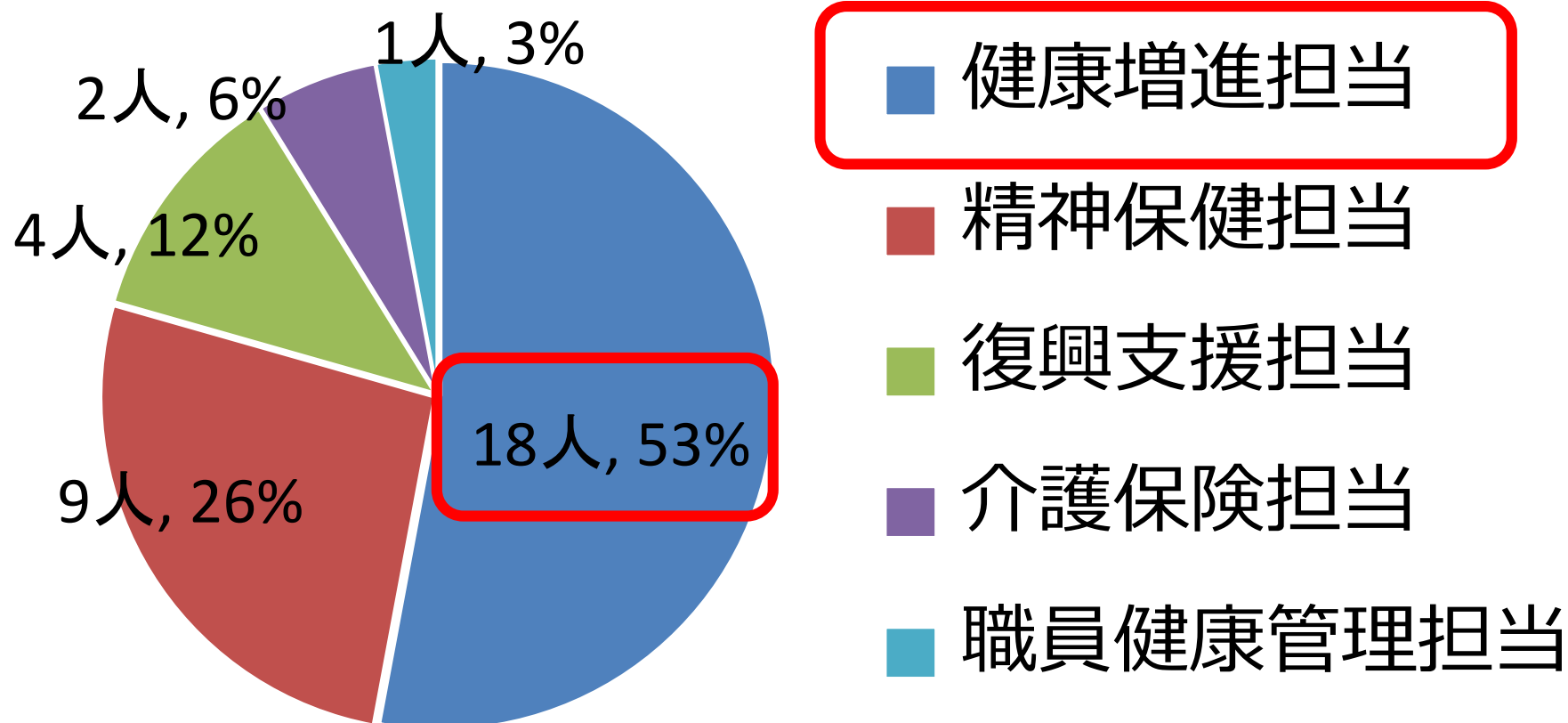
Tel 022-263-6615

<主催> 宮城県塩釜保健所岩沼支所・みやぎ心のケアセンター

参加者の所属（n = 79 人）

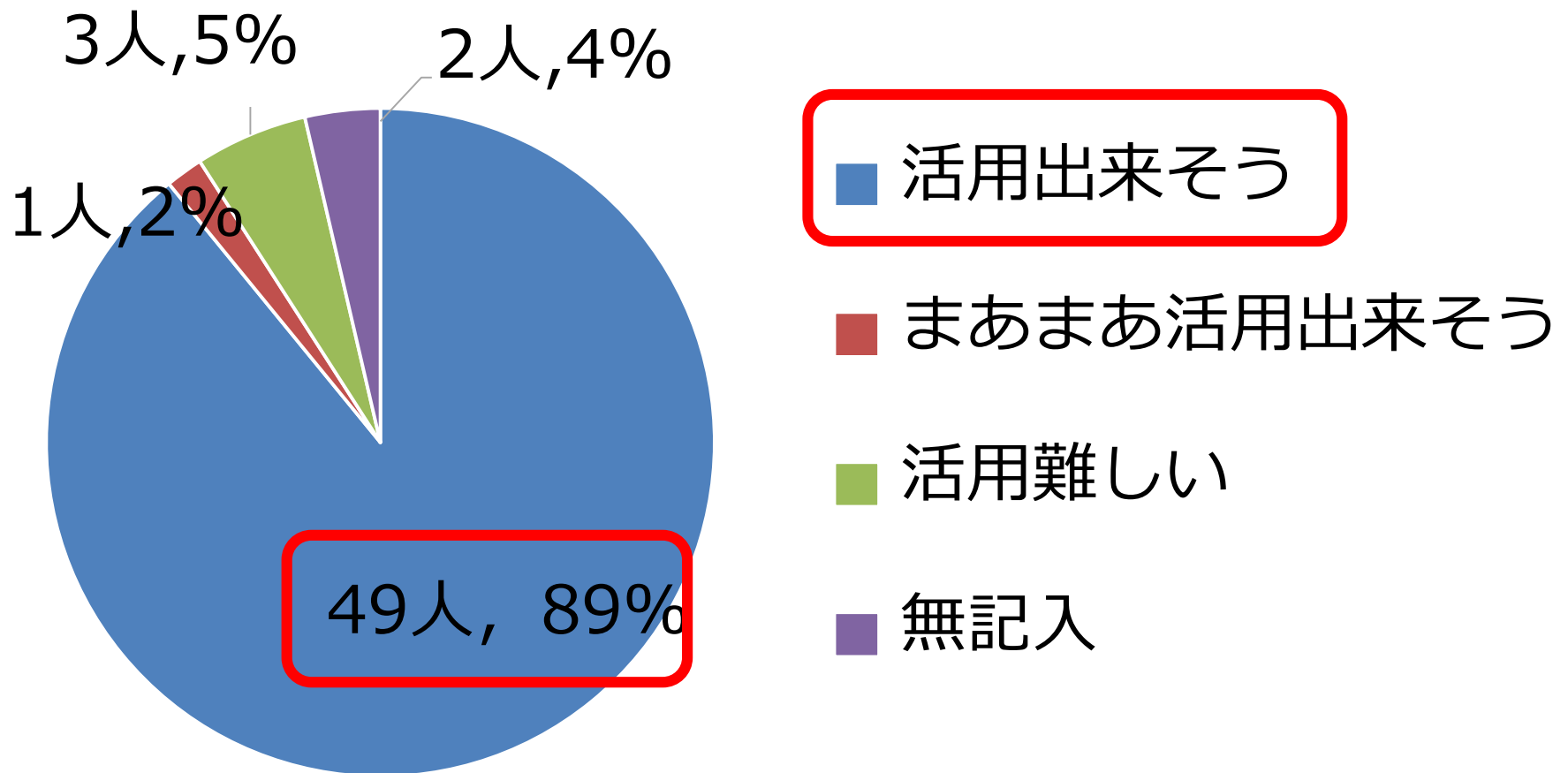


行政の内訳（n = 34人）



アンケート集計結果（n = 55人）

実際に活用してみようと思った



アンケート集計結果（n = 55人）

ドリンクの単位を始めて知ったので
積極的に使いたい。

提供された教材を活用して実践してみたい。

集団を作るのは大変なので
個別の場面で関われるのは良い。

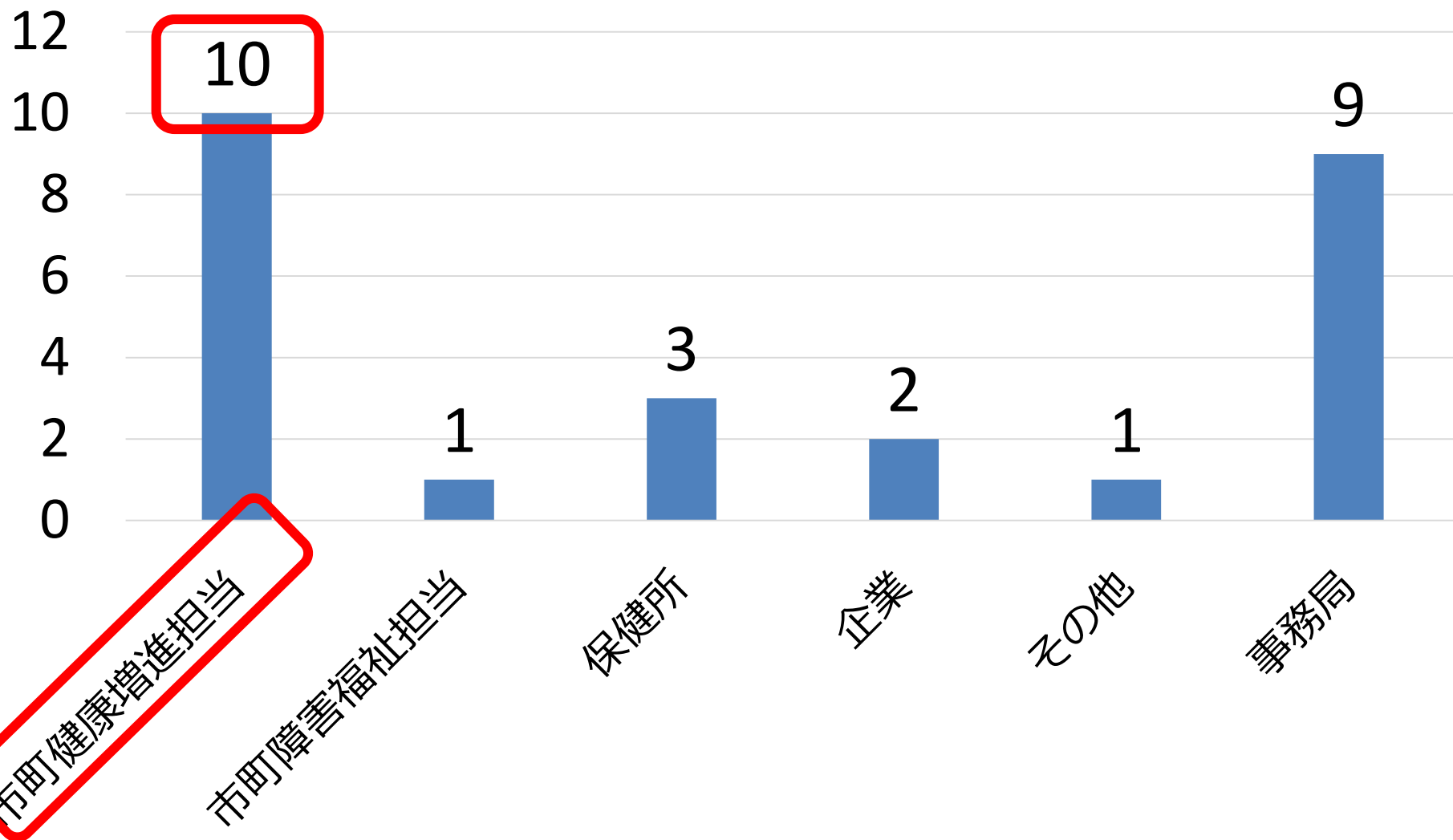
実際の活用の取組を知りたい。

節酒支援フォローアップ講座 (H30.11.16)

- みやぎ心のケアセンターとの共催で開催。
- これまで「10分でできる！節酒支援」を過去に受けた受講者や伝達研修を受けた方を対象。
- 前半は講義，後半は座談会を開催。



参加者の所属（n = 26人）



アンケート集計結果（n = 17人）

- アンケート回収数 17名のうち、**全員**が「**活用してみようと思った**」と回答。

まず身近な方に
活用したい

特定保健指導や
健康相談の場面で
活用したい

他の市町村の取組が聞
けて良かった。
一歩踏み出すことが必
要だと思った。

対個人に対するスキル
は定着してきた。集団
への健康教育の展開例
を紹介してほしい。

令和元年度山元町職員向け アルコール健康教室

目的 震災後の業務多忙によるストレスを誘
因とした酒量の増加が懸念される役場
職員の心と身体 の健康の維持・増進

- 山元町保健福祉課，総務課，岩沼支所の共催で
開催。
- 3回シリーズで
HAPPYプログラムを実施。



山元町職員向けアルコール健康教室

1 回目

- 役場職員全員を対象
- 最近の飲酒調査（ドリンク数の計算），AUDITの実施

2 回目

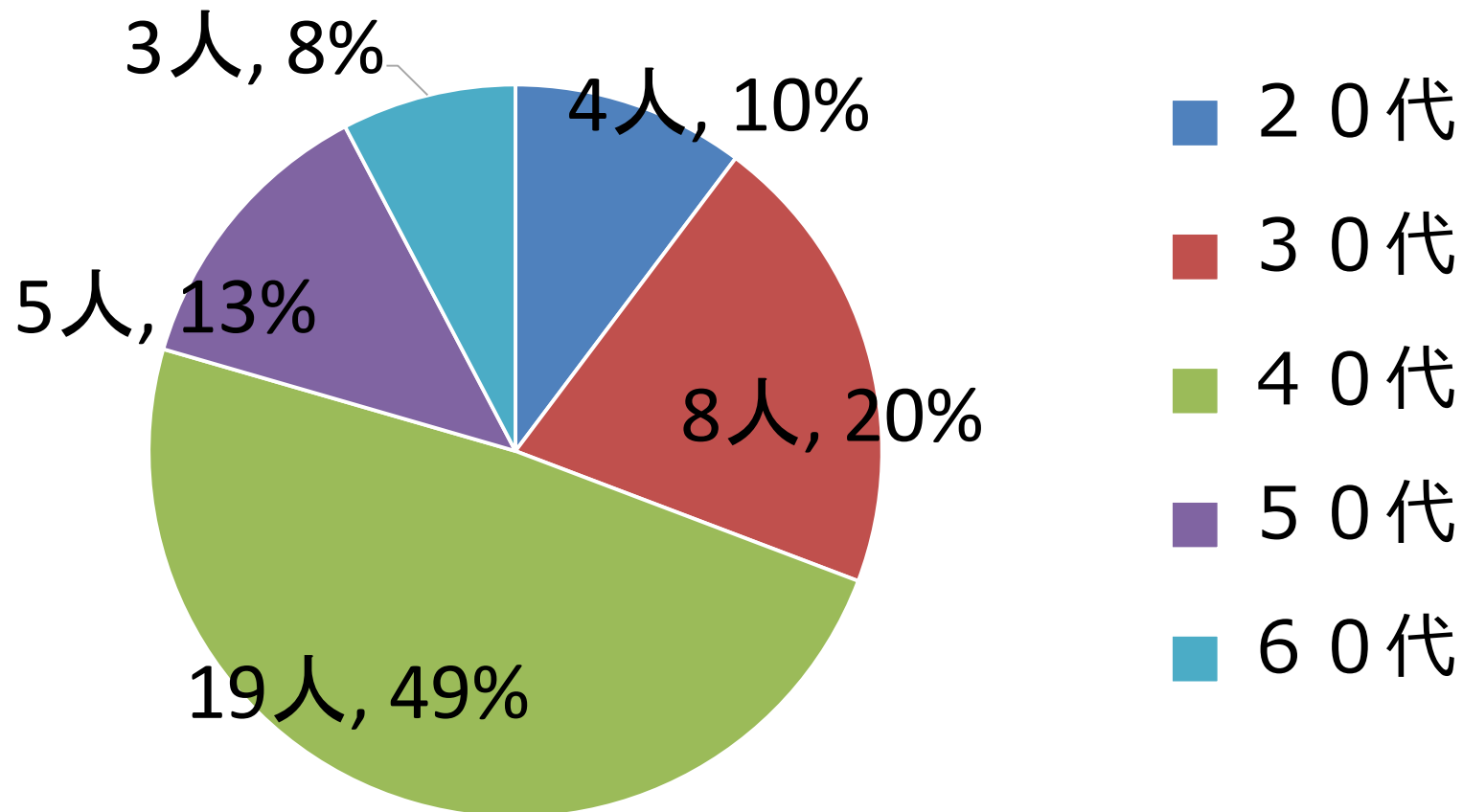
- AUDIT 8 点以上の方を対象
- ワークブック（基礎編）を中心に進行

3 回目

- 2 回目を受講した方を対象
- ワークブック（応用編），飲酒日記を中心に進行

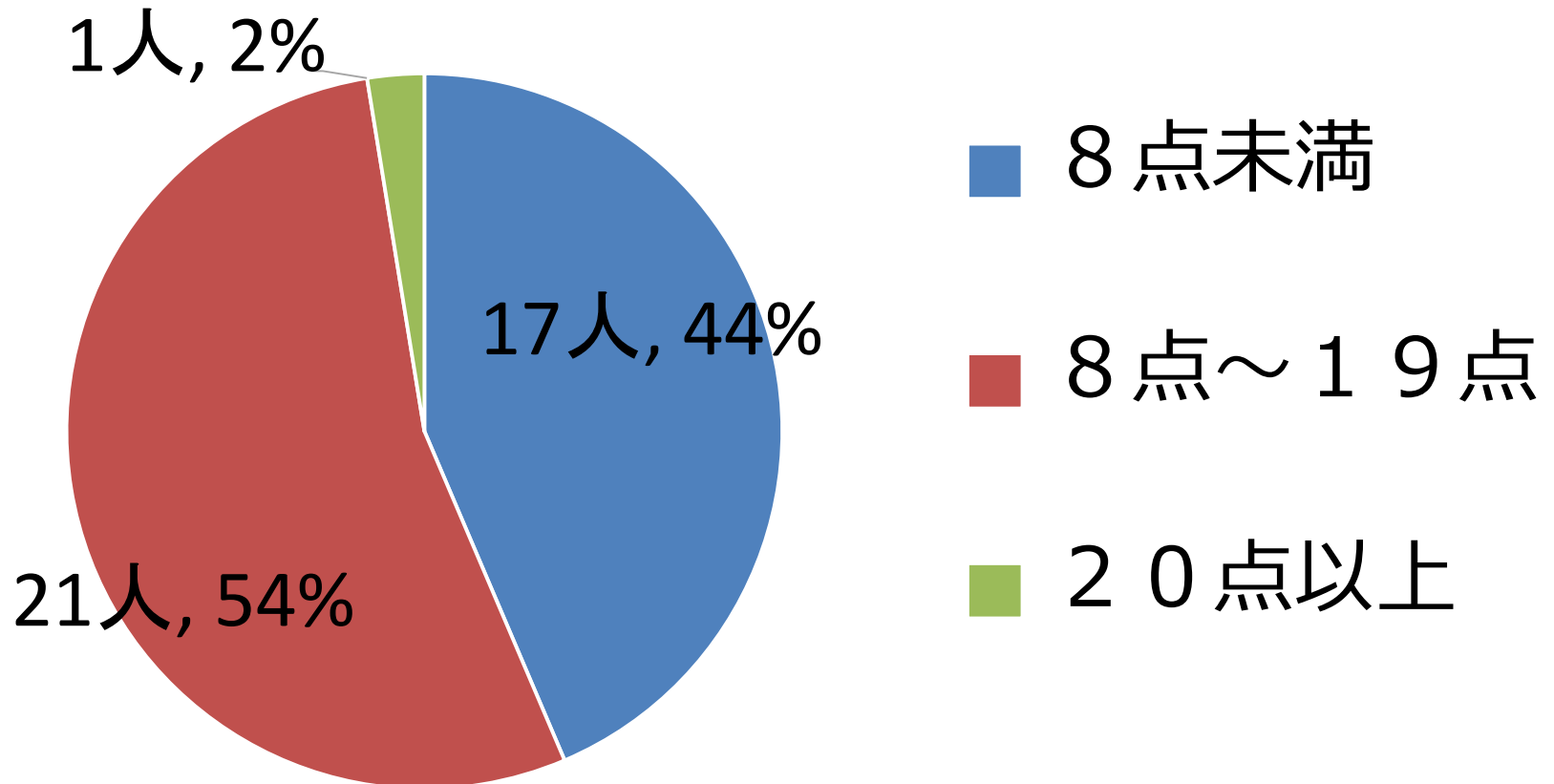
山元町アルコール健康教室① (R1.10.1)

年齢構成 (n=39人)



山元町アルコール健康教室① (R1.10.1)

AUDITの点数(n=39人)



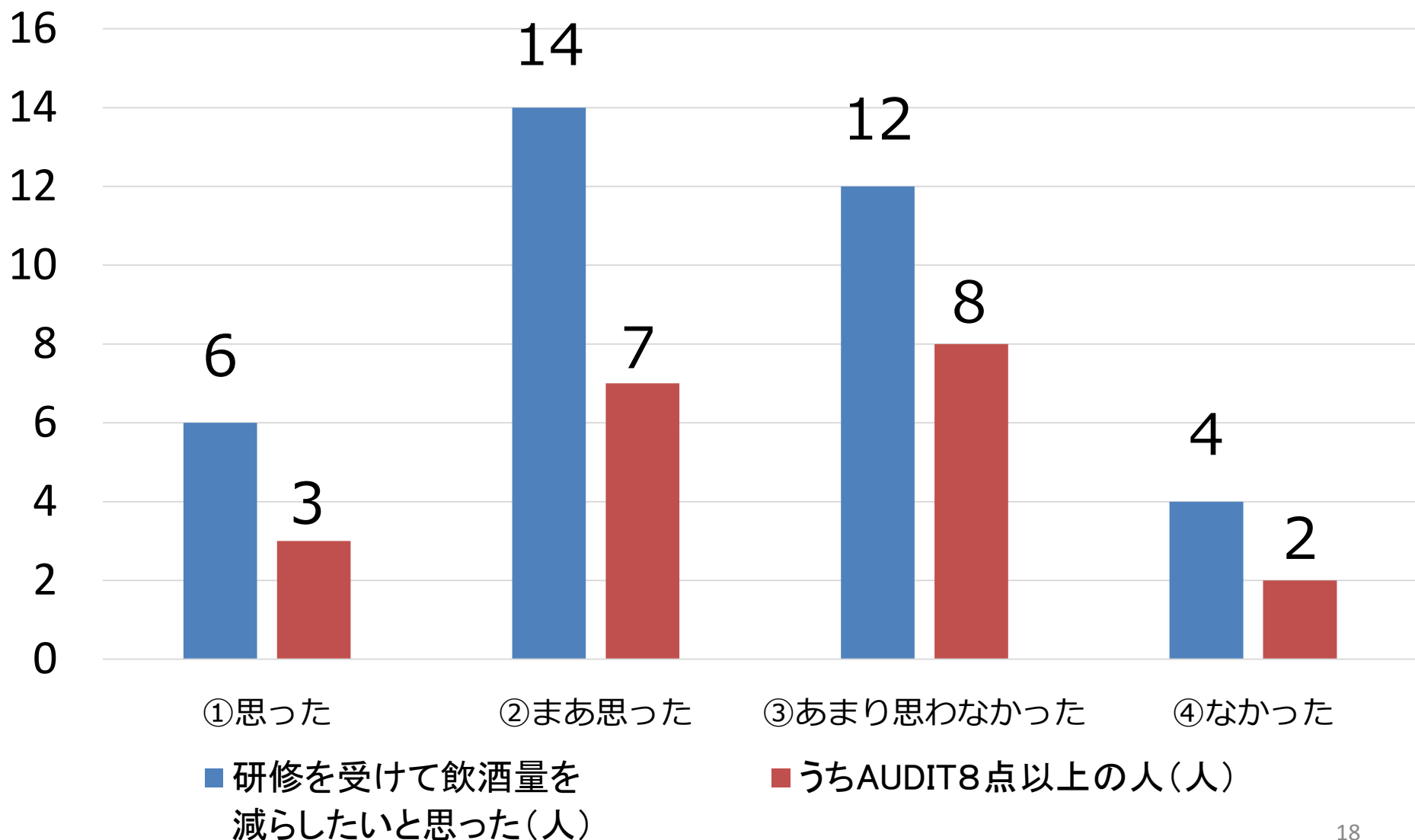
アンケート集計結果（n = 39人）

- 研修内容について、全員が「理解出来た」「まあ出来た」と回答。
- 全員が「今後の参考になった」「まあまあ参考になった」と回答。

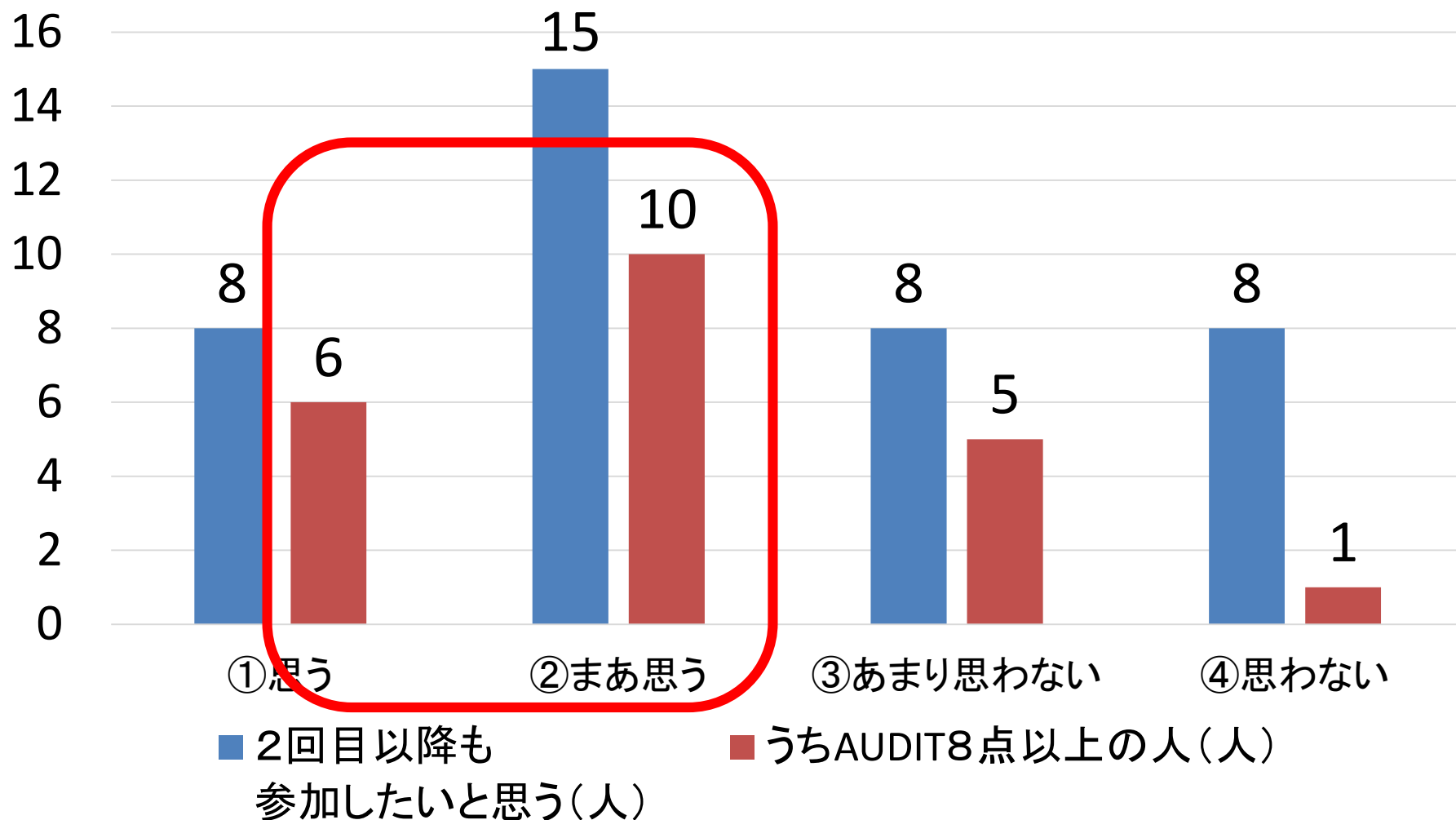
役場の飲み会で総務課長が「4ドリンクでアルコールが抜けるのに8時間かかる。」と声かけされた。



アンケート集計結果（n = 36 人）



アンケート集計結果（n = 39人）



山元町アルコール健康教室② (R1.11.12)

- AUDIT 8 点以上であった 2 2 名のうち、
9 名から参加申し込みがあり、当日は 7
名の方が参加。



ワークブック
あなたが作る
健康ノート
—基礎編—

氏名

アンケート集計結果（n=6人）

- 全員がお酒の飲み方を変えるのに、
「役立った」「まあ役立った」と回答。

具体的な目標を設定
することが出来た

お酒の上手な付き合い
方について学べた

お酒の量を減らす
具体的な方法を学べた

少人数のディスカッ
ションは非常に良い

考察

- 岩沼圏域内でのアルコール問題対策は依存症者支援が中心であった。震災を機にアルコール問題の顕在化が起こり、**心のケアセンターという専門家集団が介入**したことで、節酒支援の先進的な取組や節酒支援の重要性が共有されるようになり、効果的な事業の推進につながった。

「宮城県アルコール健康障害対策推進計画」の策定

県保健所の肥前精神医療センターへの派遣

精神保健福祉センターの県内全域を対象とした研修会の開催

今後について

- 節酒支援の機運の高まりのなか、管内市町が節酒支援の取組に理解と関心を示してくれたことが、職域とも連携した取組につながった。
- 今後も、保健所レベルで節酒支援の普及に取り組むこととともに、市町とも協同で節酒支援に取り組むことで、現場での実際の活用へとつなげていきたい。

ご静聴ありがとうございました。

せんこくん

